



P R E M I U M

Asada

環境を守る親切ツール

真空ポンプオイル

純正品



低温始動性



長時間運転



長寿命

真空ポンプの性能を最大限化



0.5L

コードNo. **VP3205**
標準価格 **580円**



1L

コードNo. **VP3210**
標準価格 **1,050円**



4L

コードNo. **VP3240**
標準価格 **4,200円**

真空ポンプオイル交換の重要性

真空引き完了後、オイルが温かいうちに交換をすると、汚染物質が沈殿する前にオイルと一緒に取り除くことができます。オイルを定期的に交換し、取り除くことができます。オイルを定期的に交換し、常にきれいなオイルの状態を保つことにより、ポンプの性能や効率の低下、ポンプユニットの摩耗や腐食を防止し、真空ポンプが長持ちします。

※ 一度、摩耗・腐食したポンプユニットは、オイル交換しても元に戻りません。

オイル交換をオススメします!!

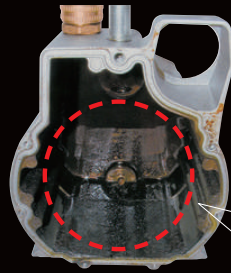
写真のポンプオイルサンプルは、修理で返却された真空ポンプ内に充填されていたものです。この状態でポンプオイルを交換せずに使用を続けると、ポンプユニットが磨耗・腐食するため、ポンプユニットの一式交換が必要となり、修理にかかる費用が大きなものとなります。



水分を吸収して「乳白色」に濁ったオイル



酸分やコンタミなどによって激しく汚染され黒くなったオイル



酸分やコンタミ類などによって激しく汚染されたオイル

定期的にオイル交換を行って使用し続けたポンプユニット。



オイルを未交換で使用し続けて腐食したポンプユニット。修理の95%は、オイルを交換していないこの状態になって返却されています。

真空ポンプオイル交換方法

以下の作業を継続して行うことで、お使いの真空ポンプを末永くよい状態で保つことができます。

効果的なオイル交換方法は?

ポンプケース内に汚泥が溜まっていない場合は、ポンプユニット内のオイルを含めて完全に排油するため、以下の手順を実施することで、効果的にオイルを交換することができます。

この交換作業を頻繁に実施することにより、真空ポンプの性能を常に良好な状態で保つことができ、修理が必要となる磨耗・腐食を防止することができます。



ポンプケース内の洗浄方法は?

しかし、この方法ではポンプケース内に沈殿した汚泥等を「洗い流す」効果がなため、ポンプケース内に汚泥が溜まってしまっている場合には、好ましくはありません。このような場合には、「パワーフラッシング」として知られている方法で交換することによって、完全な【ポンプ内洗浄】▶【オイル排出】▶【オイル注入】させることができるため、ポンプケースのそこに溜まっている汚泥等を含めて排油することができます。

「パワーフラッシング」の方法には、2種類の方法が知られています。そのひとつの方法は、運転中に新しいオイルを注入して、ポンプケース内部でオイルを攪拌させる方法で、もうひとつの方法は、繰り返し新しいオイルを交換していく方法です。時間とオイル量が必要ですが、後者の方法を行なったほうが確実な「パワーフラッシング」を行なうことができます。

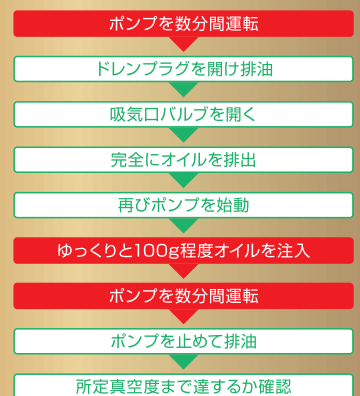
真空度の測定方法は?

真空度を測定する場合には、マニホールドは使用できません。必ず専用のデジタル真空計を使用して測定します。測定方法は、真空ポンプの取入口に直接デジタル真空計を接続し、真空ポンプを起動させて、約15分以上経過した後測定します。

パワーフラッシング方法 ①

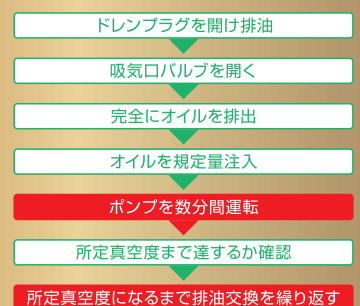
この方法は、ポンプを回転しながら新しいオイルをゆっくりと注入させることによって、ポンプケース内に沈殿した汚泥を攪拌させて排油する方法です。

交換後、所定の真空度まで達することが確認できたら完了ですが、所定の真空度に達しない場合はもう一度同じ作業を繰り返します。



パワーフラッシング方法 ②

この方法は、新しいオイルを繰り返し交換しながら、ポンプケース内が完全に洗浄されるまで繰り返す方法です。時間やオイル量が一番必要となりますが、一番確実に「パワーフラッシング」ができる方法です。



ポンプケース内の汚れがひどい場合には、この作業を5~6回程度繰り返す必要があります。

●お求めは下記の代理店へ・・・

Asada アサダ株式会社

本社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社 (バンコク)
台湾浅田股份有限公司 (台北)
アサダ・アールコムマシナリー社 (ケアリンブル)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)
アサダ・インド社 (ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司 (上海)
アサダ USA (カリフォルニア)

工場
犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松阪市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

www.asada.co.jp

※このカタログの記載内容は2018年2月現在のものです。改良により予告なく仕様変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。カタログの価格には消費税は含まれておりません。カタログに掲載されている文章、写真、イラストの無断転載、複写、引用等はお断りします。

SD807 PRINTED IN JAPAN 180201TCP_M